

## 平成28年度事業報告

### 概要

我が国の経済成長を牽引してきた団塊の世代が65歳に達し、今や総人口の4人に1人が65歳以上の高齢者となりました。定年退職後も「働きたい」「社会の役に立ちたい」など社会の一員として活躍することは、生きがいや誇り、健康の維持増進にもつながります。

福岡県では、平均寿命の延伸、生産年齢人口が減少する中、社会の活力を維持していくために「65歳からは高齢者」といった意識を改め、年齢にかかわらず経験、知識が豊富な高齢者が活躍できる「70歳現役社会」づくりに取り組んでいます。しかし日常生活においては、地域に密着した就業の場の確保をはじめ、地域に迎えるにあたっては元気な高齢者づくりの推進を担う機関として、シルバー人材センターの機能強化充実が求められています。一方、シルバー事業の環境はここ数年で入会者の減少など会員数は思うように伸びず、事業実績に於いては契約金額の減少など全国的に厳しい状況が続いています。

行政刷新会議で大幅に削減された国庫補助金の復活策として、「労働保険特別会計雇用勘定」を財源とすることで「事業仕分け」前の水準に戻りましたが、一般労働者派遣事業による高齢者活用・現役世代雇用サポート事業と地域就業機会創出事業の具現化が課題として課せられています。

何れにしても、厳しい難局は避けては通れません。公益目的事業を柱に事業を実施し、高齢者活用・現役世代雇用サポート事業では、労働者派遣事業の実績で延2,000人日以上の実績が得られ、国からの補助金の確保ができたことはセンター運営の財政基盤づくりができました。定例理事会を4回開催、各専門委員会の会議等を開催し、公益目的事業の拡充は勿論ですが地域の多様なニーズに応じた就業機会の確保、就業の適正化、シルバー派遣事業等の就業機会の拡大、ボランティア活動など、広くセンター活動PRに努めました。安全対策では安全就業促進大会及び安全就業総決起大会の開催、安全パトロールの実施、記録板による無事故日数の掲示、安全標語の表彰等に努めました。就業機会開拓では不動産物件を管理する不動産業者、保育所、福祉施設等を個別訪問し就業機会の開拓に努めました。

本年度の事業予算額13,570万円に対し事業実績は13,545万円で前年比99.82%、労働者派遣事業の受注件数は14件でした。会員数は3月末現在で269名となり、昨年より会員数は対前年比13名減となりました。このような状況を踏まえ、市民の皆様、事業所の皆様並びに関係機関の支援協力を得ながら会員、役職員が一体となり、地域社会の期待に応えられるセンターを目指しました。

以下、平成28年度の具体的な取組について報告します。

一 雇用によらない臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業機

## 会の確保・提供事業、社会参加のための支援

### 就業開拓提供等事業

#### (1) 受託事業(一般)

- ・就業機会開拓委員会では市内に不動産物件を所有する市内外の不動産業者、保育所、福祉施設を個別訪問し就業機会の開拓に努めました。
- ・ワンコインサービス事業では、70歳以上の高齢世帯を対象とし事業を実施、14件の実績を得ました。

#### 主な就業分野

- ・個人宅等における庭木、生垣等の剪定作業や草取り作業
- ・市から委託を受けた市内草刈作業、公園等の清掃・草取り作業
- ・高齢者宅などへの福祉・家事援助サービス事業  
(部屋の清掃、食事づくり、荷物の移動など)
- ・事業所から委託を受けた清掃作業など
- ・食廃油を利用して洗濯石鹼を作り店頭で販売
- ・着物着付け(七五三、成人式、入・卒業式)サービス事業
- ・親と離れて暮らす子ども等が発注者となる(親孝行支援サービス事業)

#### 平成28年度

就業実人員	就業延人員	就業率	契約金額
245人	34,712人	91.1%	132,100千円

#### (2) 独自事業

会員の創意と工夫により企画し、臨時的短期的な就業またはその他軽易な業務に係る就業機会を自ら創出する事業を実施しました。

- ・地域の公民館やJAゆめ畑において週1回(1月を除く)、一般家庭の包丁や剪定鋏などの刃物研ぎを実施
- ・いきいき情報センターで週3回一般市民を対象にしたパソコン教室を実施
- ・個人宅における家庭用エアコンの清掃作業を実施
- ・センター施設内において、EM菌等を使用したボカシの製造、市役所売店・だざいふの里・JAゆめ畑(太宰府店、筑紫野店)・市民政庁まつりで販売
- ・女性会員による古着等を利用した小物等の製作、センター事務所・市民政庁まつり・文化祭等で出店販売
- ・安納芋(種子島産)・紅ことぶき(宮崎産)等を仕入、石焼芋機で商品化したものを店頭で販売
- ・建築現場の技術者を応援するパソコン教室(10日間で学ぶCAD塾)
- ・革製品に精通した会員の指導により基礎知識を学ぶレザー(トライアル)教室を

## 開催。及び注文製品の製作販売

平成28年度

就業実人員	就業延人員	契約金額
66人	1,080人	3,352千円

## 二 雇用による臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業機会の確保・提供事業

### 労働者派遣事業

地域社会における就業ニーズと高齢者が求める就業形態の多様化に応えるため臨時的かつ短期的又はその他の軽易な業務の範囲において労働者派遣事業を推進し高齢者の就業機会を拡充・提供しました。

労働者派遣事業に係る業務については、連合会と派遣労働契約及び雇用契約について随時事業相談を行ない、幅広い就業分野の開拓に努め、取り組みました。

太宰府市実施事務所平成28年度

就業実人員	就業延人員	雇用就業率	契約金額
27人	2,109人日	10.04%	8,114千円

## 三 高齢者の就業機会の確保や社会参加活動を発展・拡充するための普及啓発、情報提供、研修・講習、相談・助言、調査研究等

### 1 普及啓発事業

#### (1) 広報活動

- ・シルバー事業の理解と支援が得られるよう、市民や事業所等に広く周知するため、シルバー太宰府及びホームページ等並びに太宰府市の広報誌などを活用した広報と情報公開を実施しました。
- ・シルバー人材センター普及啓発促進月間にあわせた筑紫地区四市一町合同のキャラバン隊は台風接近で中止となったため、芦刈市長に支援要請文を直接手渡ししました。
- ・太宰府市民政庁まつり、市民文化祭のフリーマーケット等の地域イベントに参加、会員が制作した作品の展示販売を通してシルバー事業の周知広報を行いました。

#### (2) 社会参加活動

- ・高齢者の社会参加の促進と地域住民との交流、シルバー事業の理解と周知及び地域社会の活性化に寄与するためボランティア活動を実施しました。
- ・会員によるボランティア班「里山を守る会」が「政庁跡周辺と市民の森」、「御笠川及び御笠川遊歩道」、「政庁通り」、「市民政庁まつり会場」のゴミ・空き缶の回収など

の美化活動を11回実施、延べ191名が参加しました。

- ・地域区での通学路や公園等の地域の清掃・美化活動に140名が参加しました。
- ・総合体育館「とびうめアリーナ」開館前のボランティア清掃作業に参加しました。

## 2 安全・適正就業推進事業

### (1) 安全就業対策

- ・「安全はすべてに優先する。」の理念のもと、高齢者が自らの健康の維持、センターが提供する仕事を安全・適正に遂行できるよう啓発活動を行い安全意識の高揚を図りました。会員の意識も高まり、無事故記録120日間を達成、事故の発生件数は17件となりました。
- ・「安全就業促進大会」では102名が参加、安全標語の表彰、会員による事例発表、ロコモティブシンドローム「転倒・骨折・関節疾患の予防」について福岡県健康増進課が講師となり健康講座を実施しました。
- ・剪定、草刈、草取り就業会員を対象として「安全就業総決起大会」では60名が参加しました。
- ・安全適正就業委員会で就業現場を巡回し「安全に対する心構え」、「作業前のミーティング」「作業道具の整理」「安全作業チェック表」によって就業に関し安全パトロールを6回実施、延べ29か所のパトロールを実施しました。
- ・福岡県連合会主催の安全就業大会では42センターが参加し、事例発表、安全就業宣言がなされ、安全標語で剪定班の柳場会員が最優秀賞を受賞しました。

### (2) 適正就業の徹底

- ・就業適正要綱に基づき、センターの趣旨目的に沿った公平で適正な就業機会の提供を進めました。
- ・長期就業の是正、ワークシェアリング等により多くの会員に公平な就業機会を提供するため、機関誌等を通じて公募を行い会員の希望に沿った就業提供、未就業会員の解消に努めました。
- ・職種あるいは作業現場毎にグループを編成、打ち合わせの徹底等、ワークシェアリングにより可能な限りローテーション枠を拡大し公平な就業機会の提供を図りました。

## 3 相談事業

### (1) 就業相談の実施

会員及び入会を希望する地域の高齢者を対象に随時、来訪や電話等により就業相談を行いました。

### (2) 入会説明会の開催

入会を希望する高齢者を対象に毎月1回開催し、希望する就業について面談を行ない入会促進に務めました。

#### 4 研修・講習事業

- (1) 就業希望者及び経験者の技術向上のための講習会を実施  
刈払機取り扱い講習会に34名、樹木講習会に14名が参加しました。
- (2) 福岡県が主催するふくおか子育てマイスター認定研修会を6名受講し認定書の交付を受けました。
- (3) 県主催の食中毒講習会に調理関係に就業している会員3名が出席、必要な知識を習得する場となりました。
- (4) 入会1年未満の会員を対象に新入会員研修会を開催14名が参加。各専門委員会の活動、接遇研修(接遇マナー)などを行うとともに未就業の会員への就業の提供に努めました。
- (5) 筑紫・糸島地区の「子育て・福祉・家事援助サービス事業会員合同研修会」に3名が出席、「介護予防・日常生活支援総合事業」を視野に入れた研修となりました。
- (6) 女性会員を対象に久留米信愛女学院短期大学の石井妙子氏を講師に招き「梅雨時期の衛生と高齢者の食」について調理講習会を行ない、22名が参加しました。